



レスパイトで皆の「ほっ」のお手伝いをします

もみの木ホーム（相模原市）

障害のある方自らが、福祉サービスを選択して利用する「支援費制度」が、四月から始まります。福祉サービスを利用したいと考える全ての方々が、「できない」「わからない」といった理由から、不利益を被ることのないよう、行政はもとより、県内全ての関係者が、サービス内容の充実や積極的な情報提供に向けた体制づくりに取り組んでいます。また、サービスに対する苦情や権利侵害が生じた場合の支援機関等も、地域に整備されつつあります。

今回は、親の会独自で、二十四時間対応のレスパイトサービス（※）を行ってきた「もみの木ホーム」（以下、ホーム）所長の鎮守さんと所長代理の寺嶋さんにお話を伺いました。

ホームは、相模原市内で障害のある子どもを持つ親の会である「相模原市手をつなぐ親の会」（現在の「手をつなぐ育成会」）が、昭和五十七年に開所しました。

心地よさもいっしょの家

「買い物などの、日常のちょっとした用事や兄弟の学校行事に参加しなければならぬなどの緊急的な用事のほか、親自身が生活や介護に追われ、心身共に疲れてどうしようもなくなってしまう時に、障害のある子どもを預かって

「買物などの、日常のちょっとした用事や兄弟の学校行事に参加しなければならぬなどの緊急的な用事のほか、親自身が生活や介護に追われ、心身共に疲れてどうしようもなくなってしまう時に、障害のある子どもを預かって



「お楽しみ会」で開催したクリスマスパーティーの様子

くれる所が欲しい。そんな声の高まりをうけ、昼間の一時預かり（デイケア）から活動を始めました。平成十年十月からは、二十四時間対応の、夜間の一時預かり（ナイトケア）も開始し、これまでに多くの方が利用されていま

す」と鎮守さん。

ホームを利用する理由は、親の文化活動や家族の病氣、冠婚葬祭等様々ですが、その大半は、レスパイトでの利用ということでした。

「最近では、デイケアは比較的小さい子どもを持つ親が、放課後や土曜日に学童保育的に利用されることが多くなりました。そこで、楽しく過ごせるよう『お楽しみ会』などを開催し、外出やパーティなどを楽しんでいます。またナイトケアでは、自分の子どもは、家族から離れてホームで生活するのは難しいのではと、これまで利用することを半ば諦めていた親とも相談しながら、少しずつステップアップできるように、個別の計画を作成したり、『体験宿泊』に参加してもらったりしています。送迎の問題や利用中のプログラムの開発など課題はたくさんありますが、利用者が心地よく過ごせる、そして親子の心の拠りどころとなるホーム作りをしていきたいです」と寺嶋さんは今後の活動に向けて意欲を示します。（企画課）

※ 疾病や障害のある方々の家族を、一時的に介護から解放させ、ほっと一息つけるようにする援助

もみの木ホーム

連絡先 ☎ 042-759-1435

URL http://www.jade.dti.ne.jp/

s-hukusi/mominoki/poinde.html

— 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808

TEL 03(3449) 1771(代) / FAX 03(3449) 1772

E-mail : yasue-a@nifty.com



養護ホーム（平塚市）



新築・増築・改修等お気軽にご相談ください